

平成25年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	協議会事務所運営事業
事業実施前の状況	コミュニティ推進協議会の活動拠点として事務所設置を行った。伏尾台周回道路沿いで西公園南側と目立つ場所に看板と掲示板を設置して広報を行い、これを維持している。
事業実施後の状況	事務所設置後に、協議会の役員会議を定期的に行っている。また、地域の「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議開催の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。さらに、地域内に季節毎の花を植える活動を行う社協の「花の会」の活動拠点として利用してもらっている。
事業の効果	伏尾台地域に入ってすぐの目立つ立地条件のもと、コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会並びに社協の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。 webでのグーグル地図にも「伏尾台コミュニティ推進協議会」と表示され、そのストリートビューには黄色い看板が目立っている。
今後の課題等	建築後30年以上経過している簡易型の建物であることから、雨漏りや結露が著しく、書類の保管ができず、いわゆる事務所としての機能を発揮させることができないため、会議開催程度の活用しかできない。 特に、屋根の損傷が進行してさらにひどく漏るようになってきた。

平成25年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	掲示板改修事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台の各丁目毎の自治会ではそれぞれ複数箇所に設置されている掲示板を活用して会員への情報伝達を行っているが、掲示板自体の老朽化あるいは放置され利用されていないものがある旨の報告が、本協議会の「まちなみチェック委員会」からあった。そこで自治会連合会へ掲示板の使用の実態報告を要請した。</p> <p>各自治会からの調査報告により、3か所の掲示板の撤去、5か所の掲示板の改修を行うこととなった。</p>
事業実施後の状況	<p>人通りの頻度等から設置並びに掲示効果が少ないと見られる3か所では、老朽化した掲示板を撤去した。</p> <p>人通りの頻度等から設置並びに掲示効果が高いと見られる5か所の老朽化した掲示板を改修し、管理得責任者を明示するため、協議会名を表記した。</p>
事業の効果	<p>撤去した箇所では、景観がすこぶる向上したとの評価を近隣住民から戴いた。</p> <p>改修した掲示板箇所では、掲示物の張り付け作業性の向上はもちろん、雨水の影響も軽減されるため、視認性が向上し長期間の掲示が可能になった。</p>
今後の課題等	<p>改修した掲示板に管理責任者の協議会名を記載したため、各丁目の自治会が使用してよいのか否かの疑義が生じるとの指摘があったため、平成26年度で各自治会名を記載したい。</p> <p>平成24年度では、バス周回道路を除く地域の掲示板を対象としていたが、バス周回道路の停留所に設置されている掲示板の使用頻度が高く、20年以上経過している板面の損傷が激しいので、それらの改修を望む声が高い。</p>

平成25年5月31日

池田市長 様

住所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	実施前は小学校の登校時に、主に民生委員等による見守りがあつた。平成20年9月より実施し、当初小学校の登校日を中心に、H20年は1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、H21年より1日4回に組み直して実施した。
事業実施後の状況	本年度は、小学校の曜日ごと、学年ごとの下校時刻の違いに応じてより細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、小学校の登校日に、1回1時間、1日2~3回のパトロールを実施した。
事業の効果	朝のパトロール時には、小学生にあいさつの声掛けを積極的に行ってきた結果、中高生、出勤の人まであいさつを交わすことができるようになり、さらにこのあいさつが大人同士も浸透して、近隣の目が空き巣等の防止につながり、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、ここ4年連続して空き巣犯罪"0"を更新できている。
今後の課題等	毎年10名前後の隊員の入れ替わりがあること、さらに隊員が増員しても乗務希望の曜日と時間が重複することが多く、一方、夕刻以降の乗務希望者が減少して、運行スケジュールを組むことが事務担当者の大きな負担となっている。 隊員は実施者証を携帯しなければならないが、2年毎の更新講習会の開催手配と、新入隊員への受講手配、保険加入申込み等が増加し事務処理担当者の負担が増大してきた。

平成25年5月3日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯カメラ管理事業
事業実施前の状況	H22年度、伏尾台地域は出入りできる道路が国道側と川西側の南北の2か所しかない特殊性を利用し、その2か所を通過する車の全てを撮影できるように2台ずつの防犯カメラを設置した。また、同時に第2コミセン南側と細河中学校の南側交差点にダミーの防犯カメラを設置するため、ポールを立設した。
事業実施後の状況	第2コミセン南側と細河中学校の南側交差点に立設していた防犯カメラ用のポールに、各2台ずつの防犯カメラを設置した。 先に設置した伏尾台地域への出入口である南北2か所の2台ずつの防犯カメラと、本年度設けた地域周回道路の東西2か所の2台ずつの防犯カメラとを併せて8台が設置され、地域に出入りする車両はいずれかのカメラにもれなく撮影され得る状況となった。
事業の効果	各防犯カメラとレコーダーはメンテナンスされて地域に出入りする車両の画像を良好に記録でき、また、警察の捜査にも協力できている。同時に実施している安全パトロール事業での青パトロール車の巡回、地域内の防災防犯委員会並びに自治会の防犯活動と相まって、4年連続して空き巣事件"0"を更新できている。
今後の課題等	これまでに、池田署より捜査のため記録開示の要請が5件あった。市危機管理課と協議会の委員会の立会いのもと開示した。しかし、現場での立会い者は日時や天候にかかわらずに長時間を強いられ負担が大きく、SD式のように記録媒体を取出し、屋内でPC似て記録開示できる形式が望ましい。 防犯カメラの設置並びにその維持に対して、住民の認知度は上がり、新たに北高校周辺に増設を望む声がある。

平成25年 5月 8日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3

協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会

会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯防災啓発事業
事業実施前の状況	<p>防災・防犯委員会は、自治会連合会より配分される50円×1350戸の予算で運営されるが、毎年の戸数減で運営費が厳しい状況にあった。毎年12月の総合防災訓練での費用も毎年参加人数が300名を超えるため嵩むが、自治会からの配分予算では厳しい状況である。また、自治会主催の夏祭りでは、会場周辺の交通整理と警備を請け負い、毎回70人過の委員が時間差で参加するが、より安全に歩行者を誘導できるように、通行止め区間における照明等が確保されることが望ましい。</p>
事業実施後の状況	<p>ガスボンベによる発電機2台を導入でき、自治会主催の夏祭りに際して、全く街灯がない2か所で投光器を点灯して交通整理を行うことができた。又、青色灯パトロール車も夕刻より1回50分で4回のパトロールを実施した。</p> <p>12月2日(日)の総合防災訓練には、補助金を訓練活動の諸費用に活用することで、約350名の住民が参加して7項目の訓練を行った。</p>
事業の効果	<p>自治会主催の夏祭りでの通行止め区間の始末端箇所での夜間照明を確保でき、安全に交通整理が実施できた。</p> <p>自治会からの配分予算の増額が困難な中、総合防災訓練での必要経費を補助金で賄うことができ、350名を超える住民に訓練を受けてもらうことができた。</p>
今後の課題等	<p>夏祭りでの通行止め区間の始末端箇所での夜間照明が確保されたが、駐車場入口となる小学校裏門、北高等学校においても夜間照明が確保されることが望ましい。</p> <p>総合防災訓練時の引率リーダーの養成のために、独自の教育カリキュラムとして、人と防災未来センターや各種防災施設の見学会を開催したいとの要望があった。</p>

平成25年 5月 〆/日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	自治会連合会が主催する夏祭りは、各丁目の自治会の会員数に応じた分担金で運営されるが、会員数の減少化が進む自治会が増える中、総額を抑えても予算配分に苦慮している状況にあった。夏祭りの一環として子供会が行う御神輿巡行の費用を自治会連合会が負担し、同様にこの予算化についても困難になっきている。
事業実施後の状況	自治会連合会は、盆踊りを行うための予算を、本補助金で充填することができ、又、子供会では本補助金で子供御輿巡行を行うことができ、その結果、自治会連合会では子供御輿巡行の負担金もなくなり、予算を圧迫することなく、例年どおりの夏祭りを開催することができた。
事業の効果	地域住民の高齢化と小子化が進む中でも、伏尾台にも多くの子供が住んでいるなど感じられ、地域へ帰省中の若い親子連れも目立つとの印象を持ち、開催して本当によかったと、夏祭り実行委員会のメンバーがそれぞれ口にするほど、盛況な夏祭りとなった。
今後の課題等	自治会連合会では、毎年入れ替わる班長、役員で実行委員会を組織して夏祭りを開催し、これが相応の負担で、自治会脱会の主因となっているので、開催経験のある固定的な人員で構成される実行委員会が組織されることを希望する声が多い。 また、子供会の入会には家庭が自治会員であることが求められ、年々入会する子供が減少し、両者が減少の悪循環となっている。

平成25年5月31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台地域活性化事業
事業実施前の状況	伏尾台センターは、バス停ロータリーがあり、マンションとその1階に商店街、夢の広場と称されるマンションに挟まれる公園、そして第1コミセンが隣接されており、地域の最盛期には大変なにぎわいがあった。しかし、現在では、閉じられた商店のシャッターが散見される寂しい所となった。
事業実施後の状況	伏尾台センターにかつてのにぎわいをと、住民が楽しめるコンサートとして4回の「ふしおだい山びこフェスタ」を夢の広場公園、第1コミセン大集会室で開催した。 5月26日「フリーマーケットと吹奏楽そしてジャズコンサート」 6月30日「バロック音楽の夕べ」 11月17日「ボーカルコンサート」 3月9日「落語の会」
事業の効果	開催結果を参加人数(1時間毎の最大ピーク人数)で評価する。 5月26日 フリーマーケット200人、吹奏楽100人、ジャズ180人 6月30日 雨天で室内、「バロック音楽の夕べ」110人 11月17日 雨天で室内、「ボーカルコンサート」75人 3月9日 室内で開催「落語の会」120人(満席)
今後の課題等	1回当たり平均100人以上の動員が多いか少ないかは評価が困難ではあるが、毎回参加者にアンケート調査を、年齢、参加動機、参加回数、意見要望を記入する方式で行った。その結果、参加者は異口同音に伏尾台で音楽や落語が楽しめて良かったと言い、今後も継続要望が多かった。 しかし、ボランティアスタッフを集めるが少なく、次年度は開催の内容、方法を吟味検討しなければならない。

平成25年5月21日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	AED管理事業
事業実施前の状況	4年前に阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。
事業実施後の状況	阪急バス車庫事務所に設置したAEDで、使用期限が迫った電池を交換し、使用可能な状態を維持した。 なお、伏尾台センターコープ店舗内に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。
事業の効果	午前10時から午後10時まで開店しているコープ店舗内と、24時間常駐されている阪急バス車庫の事務所内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。
今後の課題等	地域住民へのAED設置場所の周知徹底を図ること。 毎年12月に、総合防災訓練で使用体験を実施しているが、別途、使用訓練の機会を設けること。 定期的に設置状態の確認を行うこと。

平成25年 5月 31日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	子育て支援環境整備
事業実施前の状況	平成22年度に伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。その後も毎週、部屋が開設される日時を決めて、無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。
事業実施後の状況	幼児向け備品に加え、さらに体重計や遊具などの乳児用備品を整備し、さらに手ふき等の消耗品も整備した結果、気楽に集い親子共に遊び解放感を持てる部屋を維持できた。 この部屋を卒業して、就園児となった親子へのサポートとして、卒業生の集いを開き、交流が途切れないよう務めている 登録された親子は、50組、ボランティアは10名である。
事業の効果	整備した「ほっとルームフレンズ」で親交を深めた親子同士がお互いの家や公園に集い、グループで遠出できるようになり、子供と純粹に向き合い遊ぶ時間が持てる人間関係が築けるようになるなどの、初期目的である、密室育児で子育てストレスを溜めてしまうことを防止できる環境を整備維持できている。
今後の課題等	新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録等の事務処理、さらに就園児となった親子らとの交流、相談で訪れる母親への支援等を考えると、支援者の当番制を確立する制度が必要であると共に、支援者が常駐できる常設の子育て支援の専用の部屋が、第1または第2コミセンに必要である。

平成25年5月27日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	公園整備事業
事業実施前の状況	伏尾台の中央公園は、平成23年度予算でリニューアル工事が実施され、協議会からも高齢者用運動具並びに幼児用の遊具の整備を要望していた通りに改装され、アンケート調査の結果どおり幼児と高齢者の利用が従来より増加していることが確認できた。リニューアル工事の際に、砂場周辺へのベンチの設置と幼児用スプリング遊具の設置が要望されていたが、予算の都合で実現できていない。
事業実施後の状況	中央公園のリニューアル工事で、子供用エリアに新たに設置された砂場の周囲にベンチを2台、幼児用スプリング遊具2機を追加設置した。
事業の効果	中央公園のリニューアル工事で、子供用エリアに新たに設置されてその利用者も増えた砂場ではあったが、その周囲には、子供を遊ばせる親が座るところもなかった。今回ベンチが設置されたことと、幼児が座って遊べるスプリング遊具の設置とが相まって、スプリング遊具の順番待ちができるほど、利用者が増大した。
今後の課題等	協議会の子育て支援事業の担当者グループが、子供や親たちの意見を聞いて、子育て支援の視線で必要か不用か、便利か不便かを検討し提案する公園整備事業であるが、伏尾台には大小21か所の公園があり、要望が多岐に亘るため、各整備要件に必要性和妥当性から優先順位を付けることに苦労している。

平成25年 5月 9日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	街路灯強化事業
事業実施前の状況	伏尾台地域が完成してから25年以上を経過して、地域内に夜道の暗い箇所が散見されるという意見が多かったため、平成22年度より計画的に街路灯に優先順位を付けて年度ごとに順次照度アップを図ってきた。
事業実施後の状況	協議会内に委員会を立ち上げて、照度アップが必要な箇所、新設が必要な箇所を、それぞれ地域住民がリストアップし、これに優先順位を付けて、予算内に収まるように1丁目から5丁目まで均等に割り振りをを行い、蛍光管機器の交換並びに街路灯の新設を7月に実施した。
事業の効果	当初、小学校の通学路として指定されている道路沿いや遊歩道については、ほぼ一定の照度アップが2年で完成したため、雨天の下校時、日暮れが早い冬の季節で、とても明るくなったとの感想を多く聞く、その一方で、相対的に暗く感じる箇所があるとの指摘があったが、本年度で街区に必要とされる照度アップはほぼ完成した。 毎年の街路灯委員会での照度の検討が街並みのチェックを行うきっかけになり、地域の種々問題をより深く検討することができた。
今後の課題等	現在の街区に必要とされる照度アップはほぼ完成したものと思われる、これ以上の照度アップは費用対効果が飽和状態となるので必要ないと考えられる。 今後は街区の照明器具の経時経年変化等に注視して、定期的なチェックを行っていきたい。

平成25年 3月 8日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	伏尾台校区住民がスポーツに親しみ気軽に参加できる機会を設け、幼児から高齢者まで楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る目的で、伏尾台校区市民レクリエーション大会実行委員会を組織し、自治会連合会の協賛のもと、伏尾台大運動会を行ってきた。各自治会の組織率の低下にともない、自治会からの参加者並びに協賛金も大きく低下している。
事業実施後の状況	自治会協賛金の低下を補う形の補助金として、必要な運営費用を賄うことが可能になり、参加者の高齢化と運動量の減量化を求める意見を考慮して、例年のプログラムを一部変更した結果、多くの住民が参加して大いに楽しめるスポーツ大会を開催できた。
事業の効果	実行委員会並びに自治会連合会の役員、スタッフともに運営が積極的に行われ、又、各自治会の参加者募集の努力の結果、例年同様に参加者があり、盛況な運動会であった。
今後の課題等	自治会連合会から実行委員会へは、盛況な運動会が開催できたことを喜ぶが、他方、参加者の高齢化並びに運動量の減量化を求める意見が出され、現在の丁目毎のチーム編成やプログラムの大幅な見直しの申入れがあった。 幼児から高齢者までスポーツを楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る初期目的に立ち返り、参加人数を考慮した紅白対抗形式など、従前とは異なる別形態の運動会を模索していく必要がある。